

大学名 山口大学

第74号 特集タイトル
「未来社会に向けた教員養成」

表題 学部生・院生が教職の「やってみたい」に教員が寄り添う「ちゃぶ台プログラム」

■教職に関する山口大学教育学部の課題
✓ 教育実習などに関する会議で、反省点に焦点があたりがちで、よい振る舞いや「もっとやってみたい」という学生に焦点があたりづらい。
✓ 学生は教育実習や学校体験活動などで正解を求め、失敗を怖がり、失敗しないために教職に関する活動に参加している状況がある。

学生が「やってみたい」「学んでみたい」ことを応援できないか？ ⇨ 安心して失敗から学べる場を提供できないか？

【特色あるプログラム:ちゃぶ台プログラム(ちゃぶ台方式による地域協働型教職研修)】

緩くつながりながらも豊かな学びの舞台(ちゃぶ台)で、実践と理論をつないで教育の「今」を考え「未来」を創る教員としての資質能力を高めるとともに、生涯にわたって「学び続ける教員」を育てるプログラム

[期待できる成果] 実践的指導力
子ども理解、同僚性、学校教育・教育事象の理解、問題解決力・省察力、学問探究力、教材開発力

【「ちゃぶ台」というシンボルに込めた想いと役割】

対等、親密な関係で 活動を振り返る場 (省察) 温かく、和やかな雰囲気の中で
~上も下もなく、腹を割って~ ~連帯的な関係~

個別的教育支援 教職相談
個人の経験や学びを生かし キャリア支援
~実践・省察と理論をつなぐ~ 様々な人たちと関わり、共有し
~協働をとおした高めあい~

○教職実践研究 **ちゃぶ台ルーム** (教職研修のハブ) ○ちゃぶ台“ほっと研”修室



教職志望学生・院生



ちゃぶ台プログラム

- [学生が現職教員等と交流するプログラム] 授業研究、合同研修、協働活動
○ちゃぶ台次世代コーホート ○ちゃぶ台理科ネット
- [学生が学校園の活動に入っていくプログラム] 遊び・学び、授業、相談、部活動
○保育ボランティア ○学校チューター
○体育実技ボランティア ○学習支援ボランティア
○学力向上等支援員
- [学生が地域で子ども等と交流するプログラム] 学びづくり、指導体験、体験活動
○ちゃぶ台林間学校
○まなびのつながりプロジェクト



【学生アンケート評価】

- ちゃぶ台に参加している学生は「50%以上が絶対に教員になりたい」、「80%はかなり教員になりたい」と思うようになる。
- 教員志望度が高い学生は志望度が低い学生よりも「授業を上手になりたい」と思うようになったり、「子どものことを大切に考えられる」となる。

学部生・院生が自主的・自発的に「やってみたい」を形にできないか？ ⇨ 教員がなるべく表に出ない寄り添う形ができないか？

【自主的・自発的なちゃぶ台プログラムへの展開(より高校生などの他者、他大学、地域を巻き込んだ新たなプログラム)】

○「カフェ21」プログラム
教職大学院生が21番教室で開いたカフェに、コース・校種・年代を超えた人々(高校生も他大学生も)が集まり、教職の話を展開するプログラム。

【期待したい効果】他者を巻き込む力、協働的に価値ある活動をデザインできる力、集団づくりと集団統率力 = 未来教育イノベーターの育成

○「教育フェス(山口大学教育学部)」
「学びや遊びは楽しい!」「教育は面白い!」テーマに幼児から地域住民までを対象にした、「教育フェス」を学部生・院生主体に協議中。

2025年11月(実施予定)

【参考URL】

